

○名前で呼ぶ

少し前のことになりますが、1、2年生が学校たんけんで校長室を訪ねてくれました。子どもたちは校長室に入るとき、きちんと挨拶をして自己紹介をしてくれました。私はちょっといじわるをして、「先生の名前を知っていますか」と聞いてみました。多くの子どもたちは、「知らない・・・」となっていました。数名の子が「たける先生」と言ってくれました。驚きでした。何に驚いたかということ苗字でなく名前で呼ばれたことです。私の予想としては「なかの先生」とか「なかの校長先生」と呼ばれるかなと思っていましたので、とても新鮮でした。それと同時に嬉しくなったのを覚えています。

私が小学生だった40数年前は、先生が子どもを呼ぶときは苗字でした。クラスに同じ苗字の子どもがいるときは、フルネームで呼んでいました。ですから、名前だけで呼ぶのは親戚とか友達ぐらいだったと思います。親戚が名前で呼び合うのは、同じ苗字の人が集まっているから当然のことだと考えてみると、あえて苗字でなく名前で呼ぶのは友達、すなわち仲の良い人だけだったように思います。

現在、十四山東部小学校では、子どもたちを名前で呼び、男女関係なく「〇〇さん」とよんでいます。このようにしている学校は、増加傾向にあると思います。このことに関しては、賛否両論があり、「親近感があってよい」とする意見もあれば、「ある程度の距離感が必要」とする意見もあります。

ある時ニュースで、社員同士の呼び方に役職名を付けないようにした企業の話を見ました。「〇〇部長」「〇〇課長」というよびかたから、「〇〇さん」に変えていました。社長でさえも同じでした。同じことを他の企業で行った場合、返って仕事がつらくなることは安易に想像できます。先の企業は、呼び方を変えるだけでなく、ワーキングスペースや食堂を工夫することによって社内でのコミュニケーションを図る場を設けていました。仕事をそれぞれの立場で行うのではなく、同じ仲間として行いたいという考えでした。

学校においては、子どもたちを名前で呼んだ後、その話す内容で友達と先生の違いを感じさせていきたいと思っています。子どもたちには、大人への尊敬の念をもって成長をしてもらいたいと思っています。

○朝礼講話から

今週の朝礼は、6年生担任の鬼頭先生からのお話でした。「ヘルシーとまと」という交通安全のお話です。小学生が事故に合うのは、低学年だと歩行中であり、高学年になると自転車に乗っているときが多くなります。また、時間帯では夕方が多くなります。

日が暮れるのが遅くなってきました。学校から帰ってから遊びに出かける人も多いのではないのでしょうか。今一度、交通安全のルールを思い出して、事故に合わない、事故を起こさないようにして過ごしてください。

ところで「ヘルシーとまと」って？ 詳しくはホームページを見てくださいね。

来週の予定

※天候等により変更されることがあります

月	日	曜	時間	校内行事
5	31	月	朝の会 13:30 14:55	朝礼 眼科検診(該当児童) 一斉下校
6	1	火	朝の会 15:45	読み聞かせ(1・2年) 一斉下校
	2	水	朝の会 14:55 15:45	ふれあいタイム(6年企画) 1・2年下校(スクールガード) 3~6年下校
	3	木	9:00 15:45	資源回収 歯科検診(全児童) 一斉下校
	4	金	14:55 15:45	資源回収 1~3年下校 4~6年下校



ホームページ更新しました！

- スポーツテスト
- 朝礼および交通安全の約束の話
- いもの苗挿し
- 緑の募金の報告